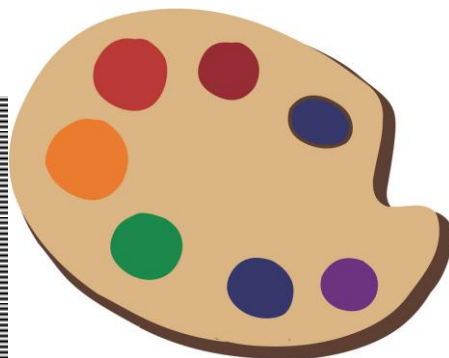


松伏二中 での マナヒカタ

中三 美術

教科モットー
制作や鑑賞活動を通して、美術の楽しさを味わおう。



学び方の系統

2年及び3年

- ① 集中しながら主体的に、よさや美しさを表すことができるようにする。
- ② 目的や条件に応じて、豊かに発想し、構想を練り、計画的に制作することができるようにする。
- ③ 対象のよさや美しさを、人との関わりと造形的な視点から深く味わうことができるようにする。

1年

- ① よさや美しさを伸び伸びと表せるようにする。
- ② 豊かに発想し、構想を練るための力をつける。
- ③ 作品のよさや美しさを理解し、味わえるようにする。

教科のねらい

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な創造活動の能力を伸ばすとともに、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養います。

学年の学習内容

- 金属でつくろう
～銅板の打ち出しによる壁掛けづくり～（彫金）
- 郷土を描く（水彩絵の具で風景画を描く）
- 自画像（鉛筆で描く）
- スケッチ

評価

- ① 関心・意欲・態度
授業の様子や、忘れ物状況、制作への集中度を評価します。定期テストの結果も加味します。
- ② 発想や構想の能力
A. スケッチなどで、よりよい構想ができていないか、計画的に手際よく制作を進められているかを評価します。
- ③ 創造的な技能
作品や表現活動の中で、丁寧に表現ができていないか、技法・用具等の効果的な活用ができていないか、作品の進み具合などを評価します。
- ④ 鑑賞の能力
作品を分析し、作品や制作への理解度や、作品、作者への共感ができていないか、印象や感動の表現ができていないかを評価します。定期テストの結果も加味します。

言語活動

思考力・判断力・表現力等を育む教科の取組
生徒の作品の良いところや工夫点を、発表させ、どこが良いのか、どのようなところを工夫しているのか等を発表させる。また、ワークシートに記入させ、言語で表現についての感想を記入する。

学習計画

学期	月	学習事項 こんなことを学びます	重要事項・ことば等	チェック
一学期	四月	●オリエンテーション ●「金属でつくろう～銅板の打ち出しによる壁掛けづくり」 ①制作内容の確認 ②参考作品鑑賞	金属の性質について	
	五月	③デザインを考え、スケッチブックにアイデアスケッチをする ④下がき用ワークシートにデザインを描き、下絵をつくる。	つくれるデザインとつくりたいデザインは異なる。	
	六月	⑤下絵と銅板の間にカーボン紙をはさみ、下絵を銅板に転写する。 ⑥銅板に描いた下絵の線の上から、丸たがねで下絵の線に沿って、点々を打つ。	銅板に穴を開けないように注意。	
	七月	⑥銅板に描いた下絵の線の上から、丸たがねで下絵の線に沿って、点々を打つ。 ⑦粘土を土台にして裏側からかたちを打ち出していく。 ●郷土を描く ①参考作品の鑑賞、風景画の構図について、水彩絵の具の表現について。	打った跡が残らないよう、少しずつ、打ち出す。 全体的に作業を進める。 「構図」「重色」「タッチ」	
二学期	九月	②「郷土を描く」鑑賞会 ⑦粘土を土台にして裏側からかたちを打ち出していく。 ※銅板が加工硬化したら、焼きなましを行う。	「加工硬化」 「焼きなまし」	
	十月	⑦粘土を土台にして裏側からかたちを打ち出していく。 ⑧表から打って、細部の調整をする。 鑑賞 ピカソについて	「金床」 ゲルニカ、キュビズム、平和	
	十一月	⑦⑧を繰り返す。 ⑨周りの銅板を平らにし、額縁にはまるようにする。 ⑩洗剤とたわしで作品をきれいに洗う。	銅板がまっすぐでないとならば、額縁にはまらない。 洗った跡は、作品の表面を絶対にさわらない。	
	十二月	⑪いぶし液に作品をつけ、酸化させ、黒く着色する。 ⑫黒くいぶされた作品を水で洗いながら、スチールウールで磨き、全体に仕上げ液を塗る。	膨らんでいるところから、軽く、少しずつこすり色を調整する。	
三学期	一月	●自画像を描く ①画面にあたりをつけ、顔が画面にバランスよく収まるようにする。 ②顔のパーツを描く	構図、明暗、質感	
	二月	③顔の立体感を出す。 ④肌の質感を表現する。		
	三月			

○この他に、「手のスケッチ」を随時行う予定です。

○夏休みには、松伏町の風景画を水彩絵の具で描く課題「郷土を描く」を実施します。
よい作品は、美術展等に出品します。

ようこそ、美術の授業へ！

美術の授業は こう受けよう！

制作中の私語は禁止です。集中してよりよい作品をつくり上げましょう。

忘れ物をすると、制作に支障が出ますので、気をつけましょう。



制作中わからないことがあったら、手を挙げて静かに先生に知らせましょう。

作品には必ず学年、クラス、出席番号、氏名を記入して、提出日に必ず提出しましょう。

授業を受ける前
受けた後
これだけはやって
おこう！

授業を受ける前

生活の中で、授業でどのような作品をつくるか、どのような手順で効率よく仕上げるか考えておくといいでしょう。授業では、限られた短い時間で、道具の準備、制作、片付けを行いますので、制作時間に考えていると制作が進まない状態で授業が終わってしまいます。

授業を受けた後

授業の最後に、次の授業の持ち物を連絡します。一週間時間があるので、早めに準備し、前日にもう一度確認しましょう。

授業に持ってくるもの

- ・ 5点セット（教科書、美術資料集、筆記用具、スケッチブック、ファイル）
 - ・ HB・2B・4Bの鉛筆
- ※ 毎回、次の授業の持ち物を連絡します。
忘れ物をすると制作ができません。忘れ物をしないようにすること。

各授業で評価に係わる大事な点

- ◇授業態度
チャイム着席、私語、忘れ物、発言、授業への取り組み方、作品の提出期限。
- ◇作品
授業等で制作した作品の完成度、ねらいに達する達成度、出来栄。
- ◇提出物
作品、スケッチブック、ファイル、自己評価カード、その他など
これらを総合して評価します。定期テストも評価に加味します。